

## 6 . 環境保全活動を行う民間団体への参加（問6）

### 6 - 1 参加の有無

環境保全活動を行う民間団体にこれまで参加したことがある人は22%で、5人に1人強の割合。参加の比率は男女で差はなく、年齢が上がるほど積極的になる。また、農林漁業や会社役員・会社経営の人が積極的に参加している。

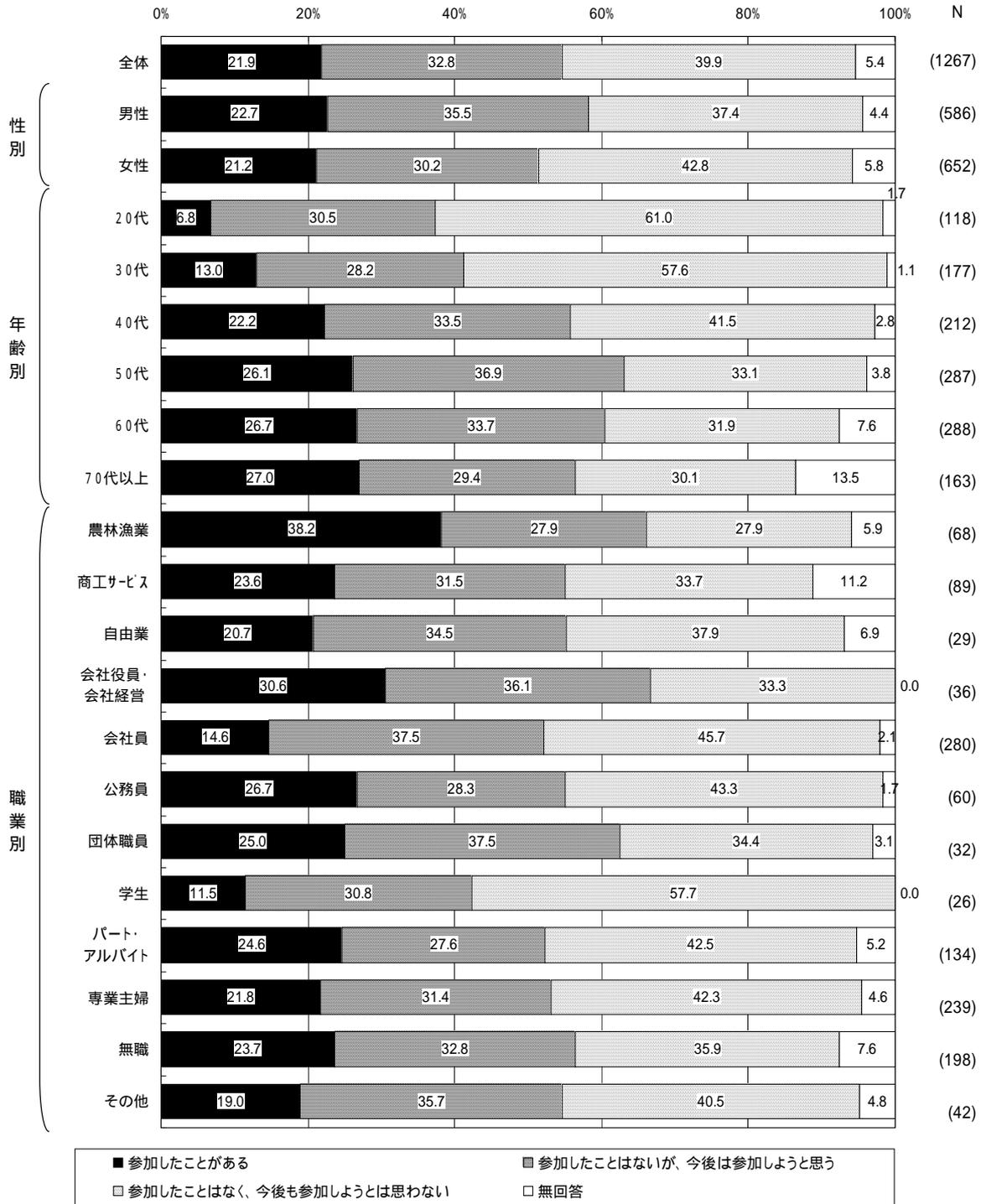
環境保全に関する活動を行う民間団体（環境NPO、自治会等の地域団体、ボランティア団体等）へこれまで参加したことがある人は22%、「参加したことはないが、今後は参加しようと思う」という人は33%である。

性別の参加経験率は男性23%、女性21%とほとんど差がない。

年齢別にみると、概して高齢者ほど増加する傾向にあり、参加したことがある人の比率は60代・70代以上で27%と高くなっている。参加意向が最も高いのは50代の37%であり、次いで40代、60代の34%となっている。一方参加経験率が低い年代は20代（7%）であり、次いで30代（13%）である。若年齢になるほど参加率が少ない傾向にあり、参加意向についても同様に若年齢が低くなっている。

職業別にみると、参加経験率が最も高いのは農林漁業（38%）、次いで会社役員・会社経営（31%）である。また、参加意向が高いのは会社員と団体職員であり共に38%である。ついで、会社役員・会社経営が36%と続く。これに対し、参加経験率が低いものは会社員、学生（15%、12%）である。

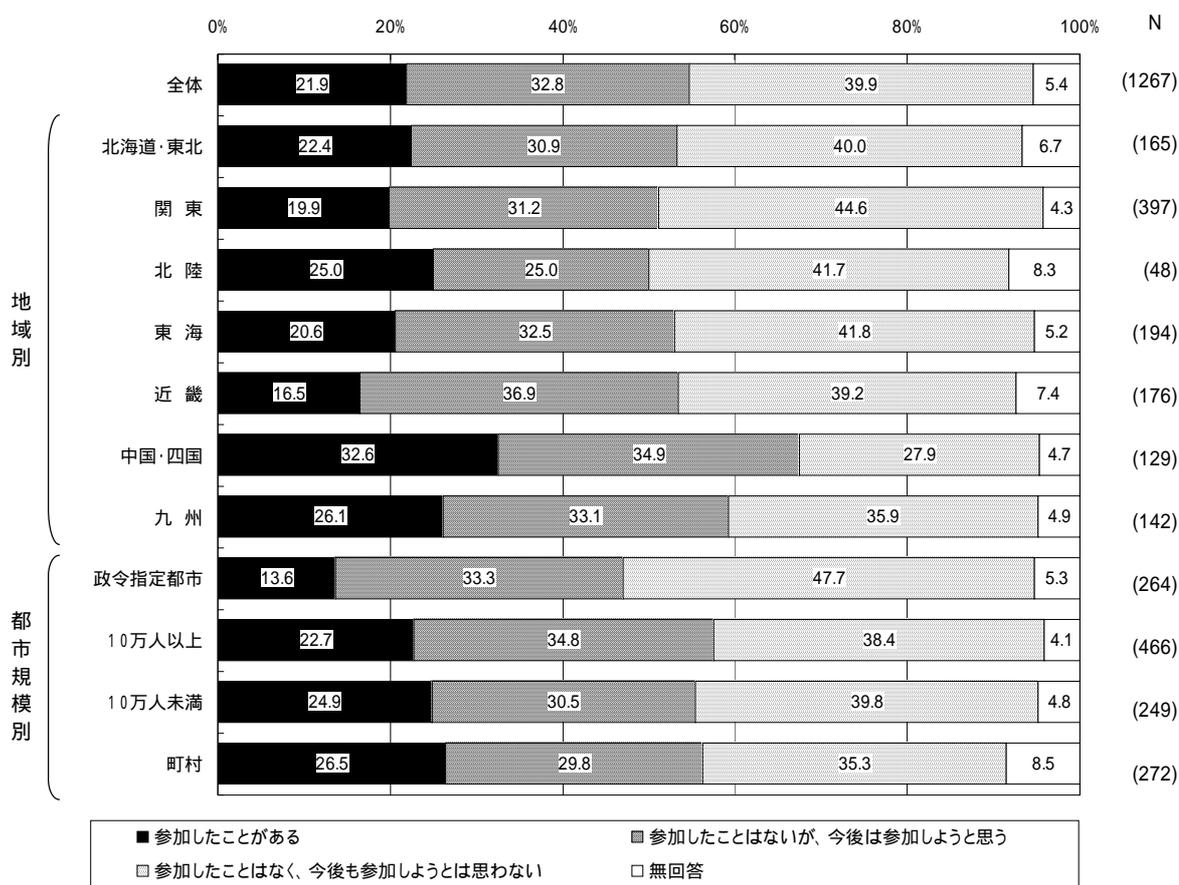
【図表 6-1】環境保全団体等への参加の有無（性別、年齢別、職業別）



地域別にみると、参加したことがある人の比率が最も高いのは中国・四国で33%、一方、最も低いのは近畿で17%となっている。

都市規模別では、規模が小さくなるに従い参加したことがある人が増加し、政令指定都市では14%に対し、町村では27%となっている。

【図表 6-2】環境保全団体等への参加の有無（地域別、都市規模別）

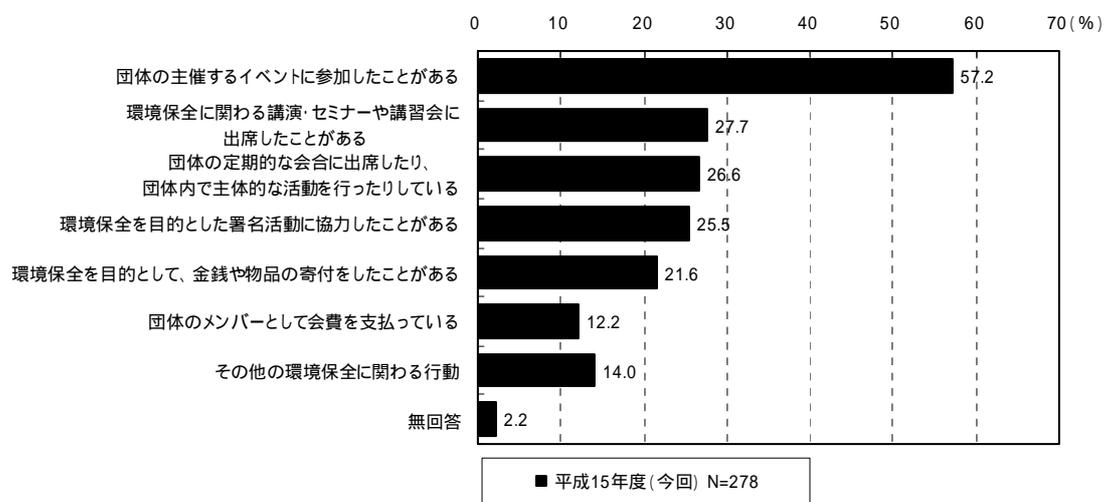


## 6 - 2 参加の内容

参加の内容としては、「団体の主催するイベントに参加したことがある」が特に多い。

参加の内容としては、「団体の主催するイベントに参加したことがある」が特に多く、57%にのぼる。以下、「環境保全に関わる講演・セミナーや講習会に出席したことがある」(28%)、「定期的な会合に出席したり、主体的な活動を行ったりしている」(27%)、「環境保全を目的とした署名活動に協力したことがある」(26%)、「環境保全を目的として、金銭や物品を寄付したことがある」(22%)が続く。

【図表 6-3】環境保全団体等への参加の内容（全体、時系列）



性別にみると、女性は「環境保全に関わる講演会・セミナーや講演会に出席したことがある」(35%)で男性(18%)を大きく上回る。他は男女間で顕著な差はなく、全体とほぼ同じ傾向を示している。

年齢別にみると、高年層ほど「定期的な会合に出席したり、主体的な活動を行ったりしている」の比率が高い傾向にある。

職業別にみると「定期的な会合に出席したり、主体的な活動を行ったりしている」という参加内容が農林漁業、自由業、会社役員・会社経営で高く、商工サービス、公務員、団体職員、パート・アルバイトでは低くなっている。(年齢別、職業別、地域別はサンプルが僅少な層があるため、結果は参考としてとどめられたい。)

【図表 6-4】環境保全団体等への参加の内容(性別、年齢別、職業別：複数回答)

単位: %

	全体	性別		年齢別							職業別										
		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	農林漁業	商工サービス	自由業	会社役員・会社経営	会社員	公務員	団体職員	学生	パート・アルバイト	専業主婦	無職	その他
調査数	278	133	138	8	23	47	75	77	44	26	21	6	11	41	16	8	3	33	52	47	8
定期的な会合に出席したり、主体的な活動を行ったりしている	26.6	27.1	26.1	12.5	17.4	12.8	25.3	28.6	45.5	42.3	14.3	50.0	36.4	26.8	12.5	12.5	-	9.1	32.7	29.8	37.5
団体のメンバーとして会費を支払っている	12.2	14.3	10.9	12.5	8.7	8.5	14.7	10.4	18.2	11.5	14.3	33.3	9.1	9.8	6.3	-	-	3.0	15.4	14.9	37.5
環境保全に関わる講演・セミナーや講習会に出席したことがある	27.7	18.0	34.8	12.5	21.7	25.5	33.3	22.1	31.8	15.4	19.0	83.3	27.3	19.5	25.0	50.0	33.3	39.4	34.6	14.9	25.0
環境保全を目的として、金銭や物品の寄付をしたことがある	21.6	22.6	20.3	12.5	26.1	19.1	20.0	26.0	18.2	19.2	19.0	50.0	18.2	29.3	6.3	25.0	-	15.2	28.8	12.8	50.0
環境保全を目的とした署名活動に協力したことがある	25.5	26.3	25.4	25.0	34.8	25.5	24.0	27.3	22.7	23.1	23.8	50.0	9.1	22.0	25.0	50.0	-	12.1	38.5	21.3	62.5
団体の主催するイベントに参加したことがある	57.2	60.2	54.3	62.5	52.2	61.7	61.3	46.8	63.6	46.2	52.4	66.7	63.6	61.0	62.5	50.0	66.7	60.6	51.9	59.6	75.0
その他の環境保全に関わる行動	14.0	16.5	11.6	12.5	4.3	14.9	14.7	16.9	11.4	11.5	19.0	-	9.1	14.6	25.0	12.5	-	18.2	11.5	12.8	-
無回答	2.2	1.5	2.9	-	8.7	2.1	-	3.9	-	7.7	-	-	9.1	-	-	-	-	3.0	-	4.3	-

地域別では「定期的な会合に出席したり、主体的な活動を行ったりしている」について、東海（38%）北海道・東北（35%）と高く、中国・四国（21%）北陸（8%）は低くなっている。「環境保全に関わる講演・セミナーや講習会に出席したことがある」については、九州（41%）近畿（38%）と高く、一方で北陸は8%と低くなっている。「環境保全を目的として、金銭や物品の寄付をしたことがある」については、関東が30%と高い一方で、北陸（8%）中国・四国（14%）北海道・東北（16%）は低くなっている。「団体の主催するイベントに参加したことがある」については、東海、九州が高く（共に68%）、中国・四国（43%）は低くなっている。

都市規模別では、政令指定都市で「環境保全に関わる講演・セミナーや講習会に出席したことがある」（39%）10万人以上の都市で「団体の主催するイベントに参加したことがある」（65%）の比率が高くなっている。

【図表 6-5】環境保全団体等への参加の内容（地域別、都市規模別：複数回答）

単位：%

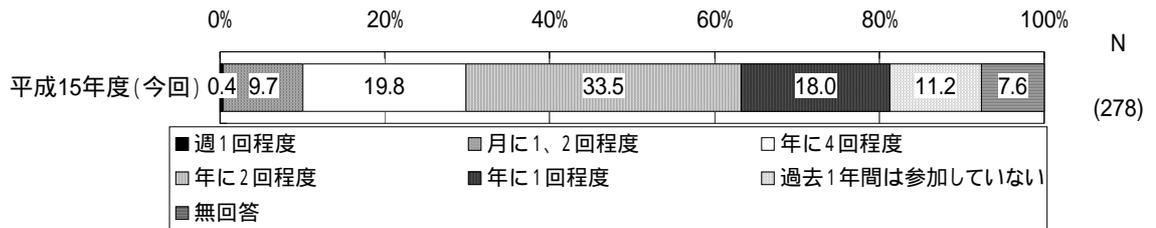
	全体	地域別							都市規模別			
		北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州	政令指定都市	10万人以上	10万人未満	町村
調査数	278	37	79	12	40	29	42	37	36	106	62	72
定期的な会合に出席したり、主体的な活動を行ったりしている	26.6	35.1	25.3	8.3	37.5	24.1	21.4	21.6	16.7	30.2	27.4	25.0
団体のメンバーとして会費を支払っている	12.2	10.8	13.9	-	15.0	10.3	9.5	16.2	5.6	16.0	17.7	5.6
環境保全に関わる講演・セミナーや講習会に出席したことがある	27.7	29.7	22.8	8.3	30.0	37.9	21.4	40.5	38.9	26.4	27.4	25.0
環境保全を目的として、金銭や物品の寄付をしたことがある	21.6	16.2	30.4	8.3	25.0	20.7	14.3	18.9	25.0	24.5	24.2	13.9
環境保全を目的とした署名活動に協力したことがある	25.5	24.3	24.1	41.7	32.5	27.6	21.4	21.6	38.9	29.2	21.0	18.1
団体の主催するイベントに参加したことがある	57.2	51.4	57.0	58.3	67.5	58.6	42.9	67.6	55.6	65.1	51.6	51.4
その他の環境保全に関わる行動	14.0	18.9	11.4	16.7	5.0	13.8	21.4	16.2	8.3	14.2	14.5	16.7
無回答	2.2	2.7	1.3	-	2.5	-	2.4	5.4	-	-	4.8	4.2

### 6 - 3 参加頻度

民間団体の環境保全活動への参加頻度は「年2回程度」が中心となっている。

民間団体の環境保全活動参加経験者のこの1年間における参加頻度は、「年に2回程度」が34%で最も多く、これに「年に4回程度」(20%)、「年に1回程度」(18%)が続く。

【図表 6-6】環境保全団体への参加頻度（全体、時系列）

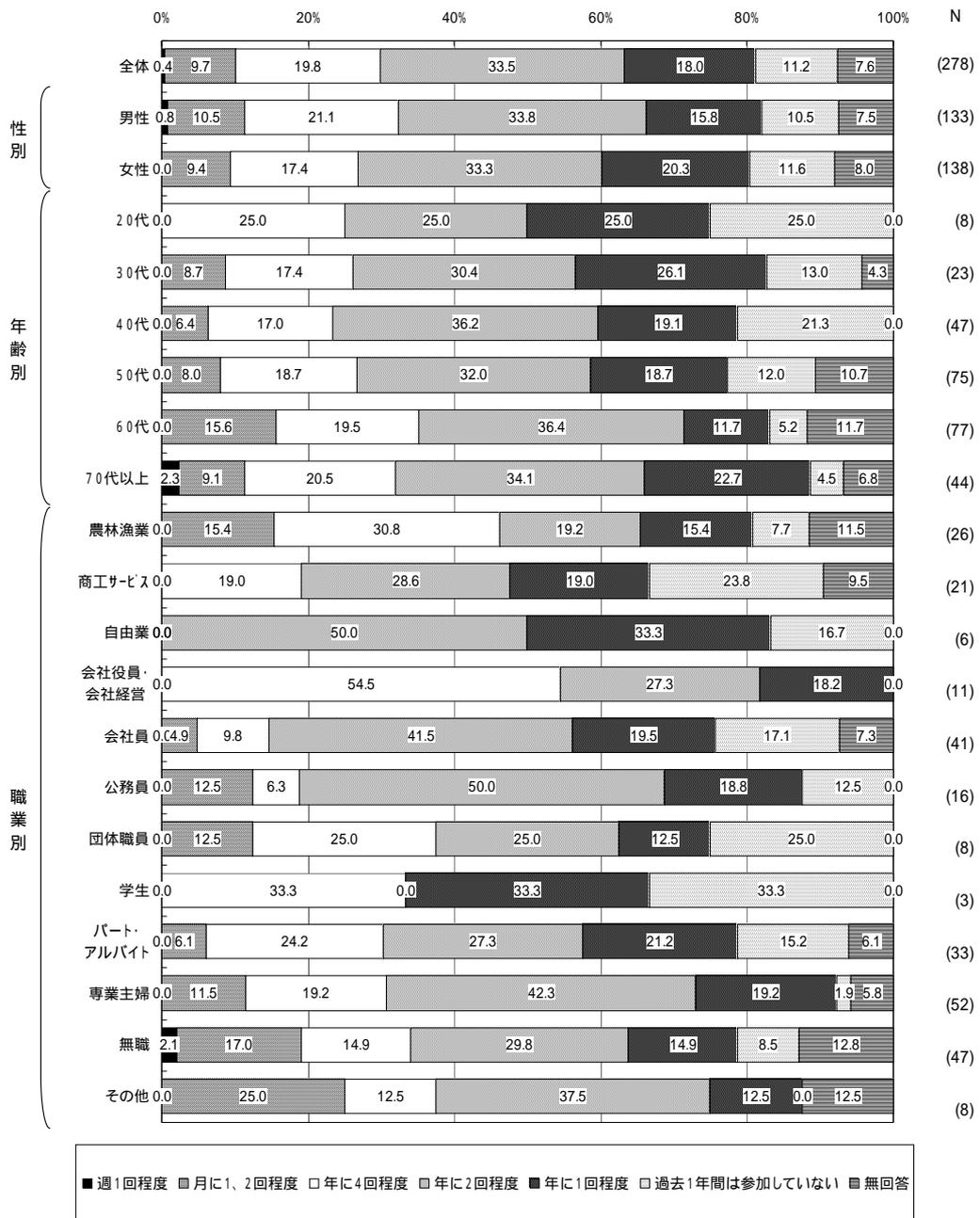


性別にみると「年1回程度」と、「過去1年間は参加していない」割合を合わせると女性（32%）に対して、男性（26%）が低くなっている。

年齢別にみると、「月1、2回以上（「週1回程度」と「月1、2回程度」の計）」は全体の10%に対して、60代が16%で最も高くなっている。一方で20代は0%にとどまっている。

職業別にみると、「月1、2回以上」参加しているのはその他が最も高く25%である。次いで、無職が19%と続く。一方で、商工サービス、自由業、会社役員・会社経営、学生は「月1、2回以上」の頻度では行っていない。

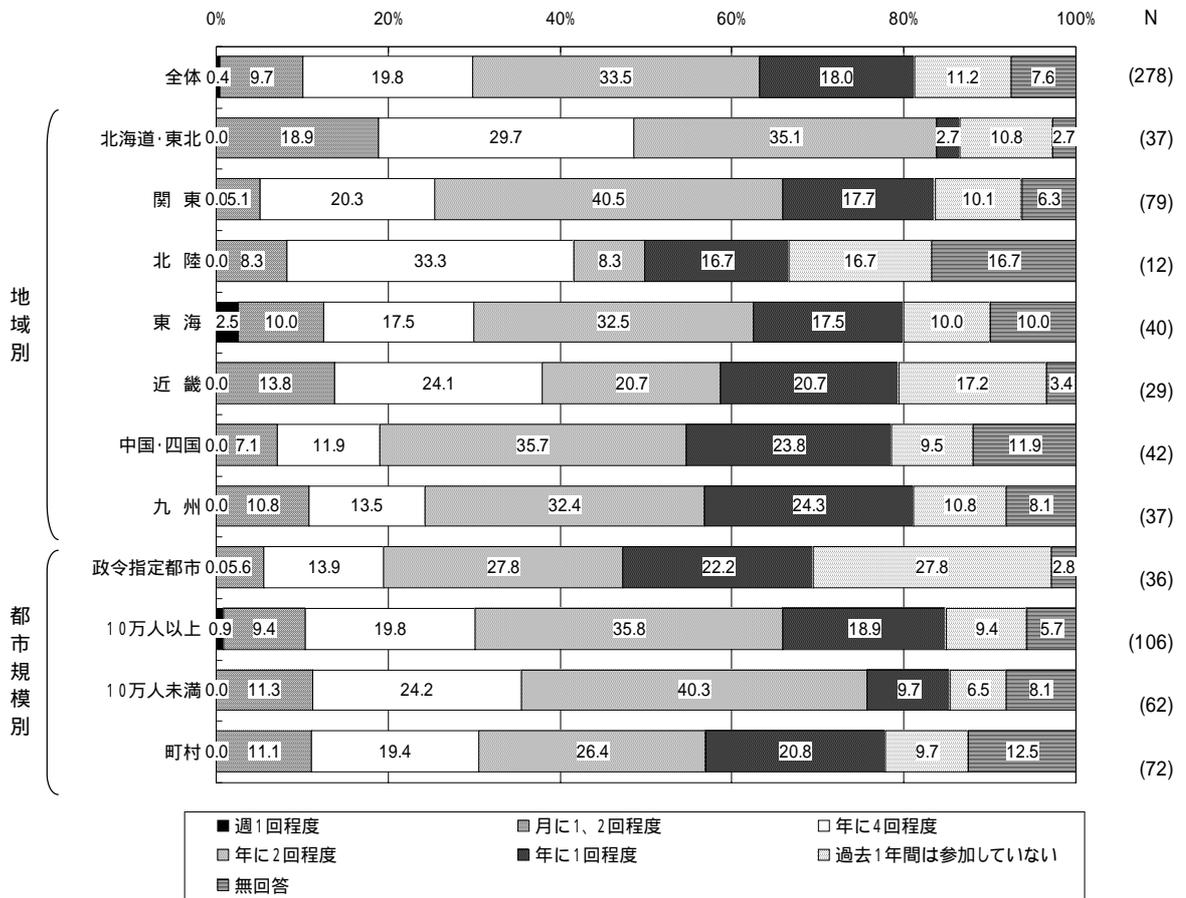
【図表6-7】環境保全団体への参加頻度（性別、年齢別、職業別：複数回答）



地域別にみると、「月に1、2回以上」参加しているのは北海道・東北が最も高く19%、近畿はそれについて14%となっている。関東は5%と低くなっている。

都市規模別では、1年以内に何らかの活動に参加しているのは、10万人以上、10万人未満の都市で8割を超える。一方で、政令指定都市は70%と低くなっている。

【図表 6-8】環境保全団体への参加頻度（地域別、都市規模別：複数回答）



#### 6 - 4 民間団体への参加による環境問題解決貢献の実感

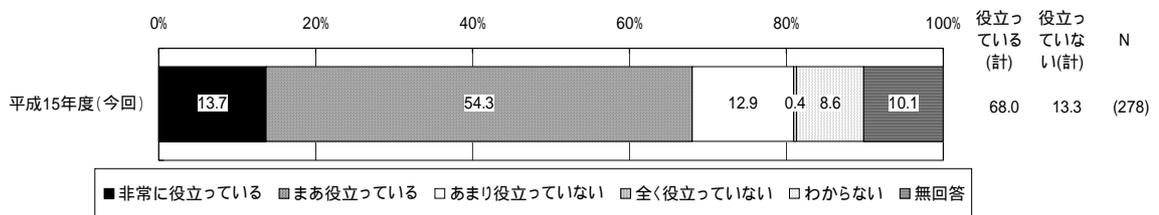
民間団体の環境保全活動参加経験者の 68%は、その活動への参加が環境問題の解決に「役立っている」と評価しており、その有用性は急速に強まっている。

民間団体の環境保全活動に参加したことがある人は、その活動への参加が環境問題の解決に「役立っている」（「非常に役立っている」と「まあ役立っている」の合計）とみている人が 68%を占め、「役立っていない」とみる人（「あまり役立っていない」と「全く役立っていない」の合計 13%）の 5.2 倍にのぼっている。

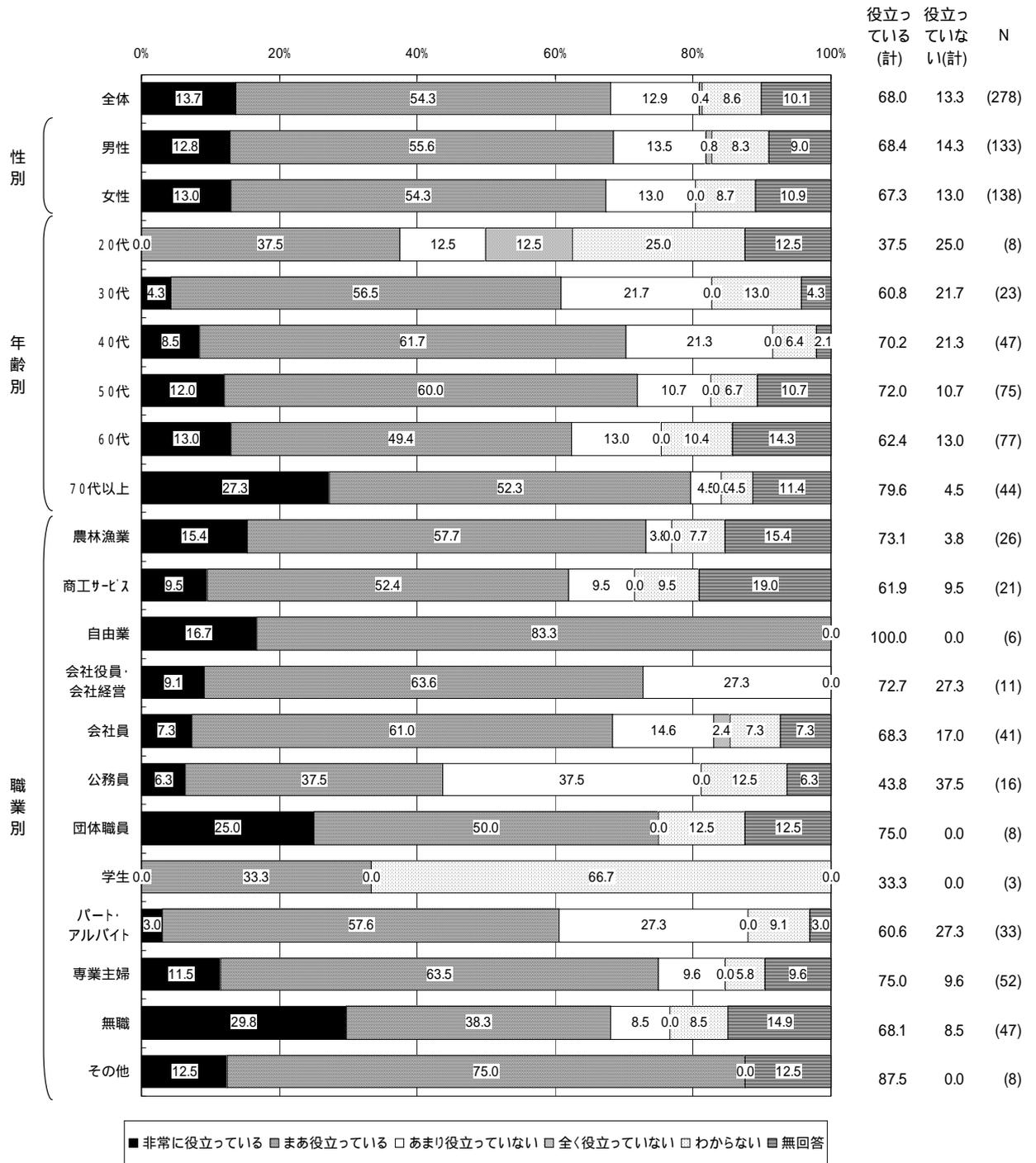
性別による差はほとんどない。

年齢別にみると、高齢層になるほど「非常に役立っている」の割合が高まる傾向がある。

【図表 6-9】民間団体への参加による環境問題解決貢献度（全体、時系列）



【図表 6-10】民間団体への参加による環境問題解決貢献の実感（性別、年齢別、職業別）



地域別では、「役立っている」の比率が九州で81%、関東で76%と高いが、「非常に役立っている」に限定すると、北海道・東北の27%が突出している。

都市規模別では10万人未満の都市で「役立っている」の比率が81%と高くなっている。

【図表 6-11】民間団体への参加による環境問題解決貢献の実感（地域別、都市規模別）

